

日本写真測量学会 令和8年度秋季学術講演会 プログラム

開催日時：令和8年11月5日(木) 10時00分～17時24分 学術講演会
17時40分～18時30分 特別講演「月面基地建設に向けた挑戦～構想から計画へ～」小林泰三 教授（立命館大学 理工学部教授（立命館大学 宇宙地球探査研究センター 副センター長））
18時40分～20時40分 技術交流会 会場：北ビワコホテルグラツィエ 2階 アレーナC 参加費：一般7,000円／学生4,000円（消費税込）
11月6日(金) 10時00分～17時00分 学術講演会
11月7日(土) 巡検 巡検コース：長浜港 → 琵琶湖・竹生島クルーズ → 長浜港→ <屋食> → 彦根城・玄宮園 → 夢京橋キャッスルロード → 米原駅（16:30頃解散予定）
巡検参加費：8,500円（フェリー&バス代、屋食代、入場料込／消費税込）

開催場所：滋賀県長浜市「北ビワコホテルグラツィエ」2階 アレーナ 〒526-0067 滋賀県長浜市港町4-17
講演会参加費：正会員5,000円 非会員7,000円 学生3,500円（会員・非会員共）（いずれも論文集代含む／消費税込）

第1日目 11月5日(木)

10:00 - 10:10

開会のあいさつ

会長 織田 和夫

第1会場（2階・アレーナA）		
セッションA	写真測量・画像計測1	司会：高橋 洋二（エアロトヨタ）
10:20 - 10:32	A-1 浅水域における光学特性を考慮した水中写真測量 ○嶋野 洸志・布施 孝志(東京大学)	
10:32 - 10:44	A-2 2カメラの光軸・視線の向きによる特徴点の画像間マッチングへの影響 ○草野 響・寄川 孝ノ慎・原 寛弥(山口大学)・その他1名	
10:44 - 10:56	A-3 高速道路伸縮装置のSfM/MVSIによる寸法計測とMMS点群を用いた管理検討 ○山本 達樹・窪田 諭・楠見 晴重(関西大学)	
10:56 - 11:08	A-4 ドライブレコーダー画像の内部パラメータ推定条件の違いが点群生成に与える影響に関する評価 ○橋田 侑樹・久保田 誠也(摂南大学)	
11:08 - 11:20	A-5 低空間分解能衛星画像検証のためのUAV画像におけるスケーリング手法解析 ○川村 唯華・高木 方隆(高知工科大学)	
11:20 - 11:32	A-6 水中カメラ画像のSfM／MVS処理による三次元地形データの取得について ○山口 航青・野口 航平・三浦 樹(中日本航空)・その他2名	
11:32 - 11:44	A-7 高解像度デジタルカメラによるオルソフォトネガフィルムのデジタル化手法に関する研究 ○田中 雅基・内田 修・織田 和夫(アジア航測)・その他4名	
11:44 - 11:56	A-8 CountryMapper-Sで同時取得したLiDAR点群から生成した仮想GCPによる写真地図精度の検証 ○中村 茉由子・吉田 光司・若泉 拓磨(アジア航測)・その他2名	

11:56 - 13:00

昼食

13:00 - 14:00	ペンダーフォーラム	司会：服部 聡子（アジア航測）
---------------	-----------	-----------------

14:00 - 14:20

休憩

セッションB	写真測量・画像計測2	司会：折原 雄也（パスコ）
14:20 - 14:32	B-1 航空機LiDARデータと深層学習を活用した樹高推定手法の開発 ○藤島 千月花・須崎 純一・石井 順恵(京都大学)	
14:32 - 14:44	B-2 クレーン動画像からの作業環境の変化の高速検知手法の開発 ○尾藤 樹・須崎 純一・石井 順恵(京都大学)	
14:44 - 14:56	B-3 低空画像による地点点群取得のための汎用セグメンテーションモデルによる植生マスクの検討 ○山根 凜大・村尾 昂哉・門間 優輝(山口大学)・その他1名	
14:56 - 15:08	B-4 地図作成における機械学習の利用可能性の検証 ○瀧宮 健介・長野 玄・藤原 博行(国土地理院)・その他4名	
15:08 - 15:20	B-5 3次元地図の建物部分更新におけるスマホLiDAR利用可能性 ○神山 優恵・野口 真弓・長野 玄(国土地理院)・その他2名	
15:20 - 15:32	B-6 3次元電子国土基本図の高さ情報に関する考察 ○野口 真弓・長野 玄・藤原 博行(国土地理院)	
15:32 - 15:44	B-7 衛星画像及び機械学習を用いた標高データの作成手法の検討 ○長野 玄・大久保 弘樹・藤原 博行(国土地理院)・その他4名	

15:44 - 16:00

休憩

セッションC	レーザ計測	司会：中川 雅史（芝浦工業大学）
16:00 - 16:12	C-1 河川の水路領域と河床構造の同時計測の研究 ○辻 悠吾・大浦 光晴・金道 敏樹(金沢工業大学)	
16:12 - 16:24	C-2 ALB計測における欠測箇所の 2次元可視化手法の検討 ○速水 隆仁・若吉 慧門・安達 湧吾(国際航業)・その他1名	
16:24 - 16:36	C-3 低照度下のVisual SLAMにおける画像強調が特徴点マッチングに与える影響 ○伊藤 有佑・松岡 真如(三重大学)	
16:36 - 16:48	C-4 マルチスケール特徴量を用いたMMS点群自動分類の効率化と高精度化 ○高橋 元気(国際航業)・中野 真肇・増田 宏(電気通信大学)	
16:48 - 17:00	C-5 観測条件差を考慮したMMS取得点群のボクセル占有状態に基づく変化抽出 ○本間 亮平(アジア航測)	
17:00 - 17:12	C-6 格納順序の復元を可能とするLiDAR点群データの高速共有手法 ○坂元 光輝・佐藤 俊明(パスコ)	
17:12 - 17:24	C-7 距離画像変換による船舶MMS向け3D-SLAMの退化抑制 ○中川 雅史(芝浦工業大学)・久保 信明・清水 悦郎(東京海洋大学)	

17:24 - 17:40

休憩

17:40 - 18:30	特別講演	司会：中川 雅史（芝浦工業大学）
題目：「月面基地建設に向けた挑戦～構想から計画へ～」 講師：小林泰三 教授（立命館大学 理工学部教授（立命館大学 宇宙地球探査研究センター 副センター長））		

18:30 - 18:40

移動

18:40 - 20:40 技術交流会 会場：「北ビワコホテルグラツィエ」2階 アレーナC

第2会場（2階・アレーナB）		
セッションD	GCOM-C	司会：古田 尚輝（RESTEC）
10:20 - 10:32	D-1 GCOM-Cによる落葉樹率を考慮した日本全域の着用品・落葉マップ ○森田 健介・高木 方隆(高知工科大学)	
10:32 - 10:44	D-2 GCOM-C/AGBとMODISデータを統合した長期地上部バイオマス推定手法の開発と時間汎化性の検証 ○金沢 真人・平山 英毅・大西 一歩(東京農業大学)・その他3名	
10:44 - 10:56	D-3 GCOM-C/SGLI内解像度融合による森林地上部バイオマスプロダクトの高分解能化 ○三上 拓馬・平山 英毅・関山 絢子(東京農業大学)・その他2名	
10:56 - 11:08	D-4 長期植生解析に向けたGCOM-C/SGLIと他衛星の時系列接続 ○山根 快斗・奈佐原 顕郎(筑波大学)	
11:08 - 11:20	D-5 観測幾何のBRDFモデル推定精度への影響評価 ○山崎 渚・須崎 純一・石井 順恵(京都大学)	
11:20 - 11:32	D-6 AHIとの併用によるSGLIアルベド推定精度の改善 ○木村 優太・須崎 純一・石井 順恵(京都大学)	
11:32 - 11:44	D-7 多時期全球SGLIアルベドプロダクトの特徴と精度の評価 ○石井 順恵・須崎 純一(京都大学)	
11:44 - 11:56	D-8 GCOM-C/SGLI Shadow Indexを用いた日平均影割合の推定と航空機LiDARによる比較解析 ○藤原 匠(防衛大学校)・森山 雅雄(アジア航測)・細井 文樹(東京大学)	

セッションE	画像分類	司会：関山 絢子（東京農業大学）
14:20 - 14:32	E-1 衛星画像と機械学習を用いた土地利用データ整備および開発適地の評価手法の構築 ○久保田 涼太・畑野 将也・寺田 遣都(東京都市大学)・その他1名	
14:32 - 14:44	E-2 衛星画像と機械学習を用いた開発適地の自動選定モデルの構築 ○畑野 将也・久保田 涼太・寺田 遣都(東京都市大学)・その他1名	
14:44 - 14:56	E-3 サブサハラアフリカにおける土地劣化検出のための改良型RESTREND法の提案 ○古賀 遼太・山下 恵(東京農工大学)・吉村 充則(日本大学)	
14:56 - 15:08	E-4 衛星リモートセンシングによる富津湾の藻場変動モニタリングと要因分析 ○中野 李南子(国際航業)・梅澤 有(東京農工大学)	
15:08 - 15:20	E-5 里地里山における空中写真を利用した土地利用土地被覆変遷の地域特性評価 ○高坂 悠太郎・山下 恵(東京農工大学)	
15:20 - 15:32	E-6 深層学習を用いたコンクリートのひび割れ検出に関する検討 ○坂本 涼雅・中野 一也(金沢工業大学)	
15:32 - 15:44	E-7 深層学習を用いた崩壊地自動判読における入力特徴量の検討 ○橋本 寛治・室井 翔太・小野山 裕治(国際航業)・その他2名	

セッションF	地理情報システム	司会：小玉 泰士（NTT e-Drone Technology）
16:00 - 16:12	F-1 森林密度と渇水期の河川流量の関係 ○石嶺 好作・高木 方隆(高知工科大学)	
16:12 - 16:24	F-2 0Dデータ滞在領域と徒歩圏の抽出 ○平山 隼太郎・須崎 純一・石井 順恵(京都大学)	
16:24 - 16:36	F-3 深層強化学習を用いた地下調節池のゲート操作に関する検討 ○福岡 涼・今村 能之(東京都立大学)・藤塚 慎太郎(東京都建設局)・その他3名	
16:36 - 16:48	F-4 ランダムフォレストを用いた洪水による被災建物の被害要因の分析 ○加藤 美穂・今村 能之・中太 大智(東京都立大学)	
16:48 - 17:00	F-5 ルールベースモデルと強化学習を組み合わせた多様な住民属性を考慮した洪水避難シミュレーションの構 ○小槻 拓登・今村 能之・中太 大智(東京都立大学)	
17:00 - 17:12	F-6 航空レーザ測深データから水路汚濁を3次元可視化する ○下川 舜・金道 敏樹(金沢工業大学)	
17:12 - 17:24	F-7 深層学習によるMMS点群からの柱状道路地物抽出と幾何・トポロジー特徴を用いた抽出結果の精度向上 ○蘇 殊・横田 宏行・白井 正孝(エアロトヨタ)	

第1会場（2階・アリーナA）			
セッションG	3次元モデリング	司会：若泉 拓磨（アジア航測）	
10:00 - 10:12	G-1	既知点を用いた幾何学変換による3次元点群歪み補正の実環境における検証 ○宮野 隼輝(信州大学)・岩切 宗利(防衛大学校)・田中 清(信州大学)	
10:12 - 10:24	G-2	移動制約付きMean Shiftによる3次元点群からの線状特徴抽出の検討 ○西田 善(信州大学)・岩切 宗利(防衛大学校)・田中 清(信州大学)	
10:24 - 10:36	G-3	SlidingVoxelとHough投票を用いた円柱検出法の初歩的検討 ○菊池 陽人(信州大学)・岩切 宗利(防衛大学校)・田中 清(信州大学)	
10:36 - 10:48	G-4	Max-Min多様性を用いた画像選択による効率的な3次元モデル再構成の検討 ○齋藤 鴻志(信州大学)・岩切 宗利(防衛大学校)・田中 清(信州大学)	
10:48 - 11:00	G-5	360度カメラを用いたフォトグラメトリによる休廃止鉱山坑道の変化検出 ○関野 楓・鳥屋 剛毅・安達 毅(秋田大学)・その他1名	
11:00 - 11:12	G-6	Unreal Engine5を用いたSfMによる検証データ収集フローの検討および構築 ○山川 蓮輝・玉川 絢登(国際航業)	
11:12 - 11:24	G-7	画像セグメンテーションマスクを入力に利用した3D gaussian splattingのガウス数削減 ○川口 滉翔・松岡 真如(三重大学)	
11:24 - 11:36	G-8	3D Gaussian Splattingにおける撮影画像間重複率の影響評価 ○溝口 知広(山口東京理科大学)	

11:36 - 11:55

セッションH	画像認識・画像判読	司会：中野 一也（金沢工業大学）	
11:55 - 12:07	H-1	物体検出を用いた公園園路の損傷検知手法の提案 ○渡辺 大貴・國井 洋一(東京農業大学)	
12:07 - 12:19	H-2	UAV画像を用いたYOLOによるキャベツ個体検出と階級分類 ○黒岩 慎之介・平山 英毅・関山 絢子(東京農業大学)・その他1名	
12:19 - 12:31	H-3	街路景観画像と深層学習を用いた土地価格の自動評価手法の開発 ○寺田 遣都・清水 貴仁・秋山 祐樹(東京都市大学)	
12:31 - 12:43	H-4	道路景観画像を用いた一般単路における交通事故発生リスク評価手法の開発 ○平井 智明・寺田 遣都・秋山 祐樹(東京都市大学)	
12:43 - 12:55	H-5	航空写真に対するMAE事前学習モデルの下流タスク評価 ―画像復元評価との比較検証― ○諸 治謙・服部 聡子・角田 里美(アジア航測)	
12:55 - 13:07	H-6	誤差に頑健な空中写真マッチングによる航空機からの手持ち撮影画像の位置推定 ○土井田 啓輔・織田 和夫・本間 亮平(アジア航測)・その他2名	
13:07 - 13:19	H-7	SAM3による長時間固定カメラ映像の対象追跡のためのメモリ効率化 ○小森 惇也・新名 恭仁(アジア航測)	
13:19 - 13:31	H-8	大規模点群の軽量処理によるオルソ生成と可読性向上 ○林 大貴(パスコ)	

13:31 - 14:45

セッションI	写真測量・画像計測3	司会：間野 耕司（パスコ）	
14:45 - 14:57	I-1	民生用デジタルカメラを用いた屋内撮影条件と内部標定要素に関する検討 ○中野 一也(金沢工業大学)	
14:57 - 15:09	I-2	公共測量への適用を見据えた衛星画像による空中写真測量と3D都市モデル整備の取組み ○中西 芳彦・檀上 拓也・高田 雅仁(国際航業)・その他1名	
15:09 - 15:21	I-3	輝度斑と低解像度に起因する重心誤差を抑制する円形ターゲット中心推定法 ○森 直樹・高橋 智子(MHIパワーエンジニアリング)・原 智子(デジタルみらい)・その他2名	
15:21 - 15:33	I-4	近接写真測量におけるターゲット管理の効率化を目的としたパノラマ画像生成手法の検討 ○原 智子(デジタルみらい)・高橋 智子・森 直樹(MHIパワーエンジニアリング)	
15:33 - 15:45	I-5	異なる解像度画像に対する自動画質合わせ込みフィルタリング手法の初期検討 ○笹川 啓(国土地理院)	
15:45 - 15:57	I-6	AIを活用した地理空間データ整備の実態と品質評価の標準化に向けた課題整理 ○溝淵 真弓・黒川 史子(アジア航測)・金 京淑(産業技術総合研究所)	
15:57 - 16:09	I-7	UAV測量における長距離目視外飛行の検討 ○野村 勇人・渡辺 寛太(アジア航測)	
16:09 - 16:21	I-8	慰霊碑計測40年史：写真測量からSfM/MVSまでの技術変遷と精度検証 ○西村 正三・大谷 仁志(コバコン)	

16:21 - 16:35

16:35 - 17:00

閉会式（表彰式 / 閉会のあいさつ 副会長）

第2会場（2階・アリーナB）			
セッションJ	農業	司会：菌部 礼（静岡大学）	
10:00 - 10:12	J-1	蒔蒾栽培における二時期の中空間解像度衛星画像活用による作付判読精度向上の検討 ○畠山 栞・小田川 信哉(RESTEC)	
10:12 - 10:24	J-2	放牧場における発情検知AIのための合成教師データ生成と有効性検証 ○河田 ひなこ・村井 亮介・橋本 直之(高知大学)・その他2名	
10:24 - 10:36	J-3	監視カメラ映像と物体検出AIを用いた子牛の行動解析による疾病兆候検出 ○矢野 葉音・橋本 直之・村井 亮介(高知大学)・その他4名	
10:36 - 10:48	J-4	雄牛装着カメラを用いた放牧場における雄牛・雌牛間の繁殖関連行動観測 ○塚本 圭哉・橋本 直之・村井 亮介(高知大学)・その他4名	
10:48 - 11:00	J-5	物体検知器を用いた牛個体識別と個体別発情検知への応用 ○村井 亮介・松川 和嗣・橋本直之(高知大学)・その他1名	
11:00 - 11:12	J-6	JAXA高解像度土地利用土地被覆図と農林水産省筆ポリゴンを用いた県別水稻作付面積の画素単位の考察 ○小田川 信哉(RESTEC)	
11:12 - 11:24	J-7	ハイパースペクトルセンシングとTransformerを活用したマスクメロン葉クロロフィル含量の非破壊推定 ○菌部 礼・市川 雄大・島岡 裕史(静岡大学)	
11:24 - 11:36	J-8	ALOS-4/PALSAR-3データを用いたSAR画像から光学画像への変換とAttention機構による特徴量解析 ○菌部 礼(静岡大学)・望月 貴一郎(パスコ)	

休憩

セッションK	合成開口レーダ・都市計画	司会：藤原 匠（防衛大学校）	
11:55 - 12:07	K-1	偏波シグネチャを用いた都市域における変化検出手法の開発 ○李 智勇・須崎 純一・石井 順恵(京都大学)	
12:07 - 12:19	K-2	衛星SARと電子基準点データを用いた三次元地盤変動の解析 ○古田 雄路・須崎 純一・石井 順恵(京都大学)	
12:19 - 12:31	K-3	SAR画像シミュレータを用いた局所変動の三次元推定 ○飯田 海月・須崎 純一・石井 順恵(京都大学)	
12:31 - 12:43	K-4	土地白書に基づく地籍調査の進捗率に対する統計分析 ○上野 悠仁・布施 孝志(東京大学)	
12:43 - 12:55	K-5	UAV撮影画像から抽出した建物周辺荒廃情報と行政データを用いたアンサンブル学習による空き家推定 ○辻野 翔大・熊谷 樹一郎(摂南大学)・畑尾 一貴(HawksMap)	
12:55 - 13:07	K-6	深層学習に適したDEM地形量の入力表現に関する検討 ○島崎 誠也・坂元 光輝・佐藤 俊明(パスコ)	
13:07 - 13:19	K-7	小型SAR衛星画像による土砂災害箇所判読可能性に関する検討 ○澤 可那子(国土地理院)	
13:19 - 13:31	K-8	融雪期CバンドSAR衛星の後方散乱係数と観測周期に同期した積算暖度成分との比較検討 ○坂田 健太・カ丸 厚・高橋 一義(長岡技術科学大学)	

昼食

セッションL	環境・防災モニタリング	司会：遠藤 貴宏（RESTEC）	
14:45 - 14:57	L-1	地理空間情報AIによるUAV可視光画像の竹林域抽出 ○尾崎 敬二(元 ICU)	
14:57 - 15:09	L-2	VIIRSのBRDFパラメータの不確実性を減らすための多年データ処理 ○松岡 真如・饒 忱楷(三重大学)・吉岡 博貴(愛知県立大学)・その他3名	
15:09 - 15:21	L-3	サンプリングモアレ法を援用したのり面変位計測 ○舟木 翔太・田村 葵(NEXCO西日本イノベーションズ)・藤垣 元治(福井大学)・その他2名	
15:21 - 15:33	L-4	2025年大船渡市林野火災焼損林の植生指数変化類型 ○岡本 勝男・竹村 文・土佐 信一(国土防災技術)・その他1名	
15:33 - 15:45	L-5	風災害推定にむけた建物情報作成手法の検討 ○肖 智蔵(アジア航測)・浦野 大介(損害保険料率算出機構)・神馬 和歌子(アジア航測)・その他2名	
15:45 - 15:57	L-6	マルチモーダル学習を用いた林相判読への言語情報導入の試み ○陳 聖隆・服部 聡子・角田 里美(アジア航測)・その他2名	
15:57 - 16:09	L-7	新潟県中越地方の活褶曲地帯における地震による斜面崩壊要因の判別分析結果と地下構造との関係 ○小荒井 衛(茨城大学)・中村 天嶺(新潟県)・佐藤 ひとみ(アジア航測)	
16:09 - 16:21	L-8	令和2年7月豪雨による球磨川氾濫を対象とした浸水被害関数作成の検討 ○中太 大智・今村 能之・加藤 美穂(東京都立大学)・その他1名	

休憩